

**製品名: MCM4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13722**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	96kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MCM4
別名	MCM4; CDC21; DNA replication licensing factor MCM4; CDC21 homolog; P1-CDC21
遺伝子 ID	4173.0
SwissProt ID	P33991
免疫原	抗血清はヒト MCM4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 20-69

**背景**

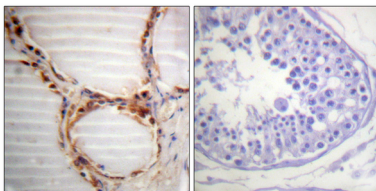
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に必須の、高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質 (MCM) の 1 つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre-RC) の重要な構成要素

であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートに関与している可能性があります。このタンパク質と MCM2、6、7 タンパク質からなる MCM 複合体は DNA ヘリカーゼ活性を持ち、DNA 巻き戻し酵素として働く可能性があります。このタンパク質が CDC2 キナーゼによってリン酸化されると、DNA ヘリカーゼ活性と MCM 複合体のクロマチン結合が低下します。この遺伝子は、DNA 二本鎖切断の修復に関与する DNA 活性化タンパク質キナーゼである PRKDC/DNA-PK に隣接する染色体 8 の領域にマッピングされています。選択的スプライシング転写機能:DNA 複製の制御に関与します。、類似性:MCM ファミリーに属します。、類似性:1つの MCM ドメインを含みます。、

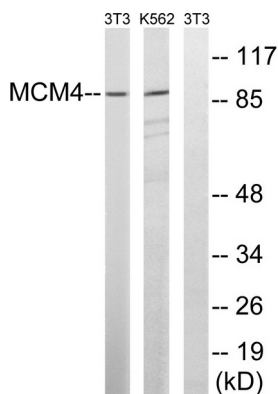
## 研究分野

DNA 複製;細胞周期 G1S;細胞周期 G2M\_DNA;

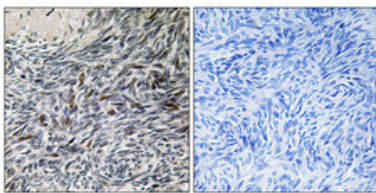
## 画像データ



MCM4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3 細胞および K562 細胞のライセートを MCM4 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト卵巣の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。